

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 優林・森和

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人らしい生活を理念に掲げ、事業所内に掲示、開設当初にユニット職員が考えた理念もフロアの見えるところに掲示して、職員は日々の実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会活動で、街路樹の花壇作りは、例年継続し、SOS 子供 110 番を登録している。町内会行事等で地域交流を行ってはいたが、コロナ禍の影響もあり行えていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会活動の具体的な活動等は、文面に記して回覧板でお知らせをするのはどうか。</li> <li>・町内活動に例年参加していただいているので、地域とのつながりは継続されていると考えられます。今後も利用者の方や住民の方が安心して地域で暮らし続けられるよう、可能な限り地域交流会活動へ参加し、地域とのつながりを持っていただければと思います。</li> <li>・町内会として春の清掃に併せて花壇作りと花を植えていただくよう当初から依頼しています。</li> <li>・町内会ふれあいサロンに参加いただいたが、コロナの関係で3年位中止していたが再開しています。</li> <li>・今後、交流していけるように取り組んで頂ければと思います。</li> <li>・7/11 の運営推進会議に参加した際は、町内会の夏祭りの案内や、除雪についての苦情の話、また地域の住民は施設の看板もないため知らない人もいると発言があった。</li> </ul>		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を2ヶ月に1回開催していたが、新型コロナウイルス感染予防の為資料配付による書面会議に切り替えて事業活動や状況活動報告を行っていたが、コロナウイルス感染症が5類になったことで、令和5年7月より、通常の対面開催になり、地域や関係機関の方々に、ご意見をいただき、日々の事業所の状況を報告し、サービスの向上に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月までは書面会議だったためできているどうかよく理解していなかった。</li> <li>・書面会議後の意見として記載していたが、その結果、翌月にでも整理されて書面で報告されなければ意味のない会議ではないか？</li> <li>・定期的に書面会議や対面での運営推進会議を開催していることで、事業所側からの話題提供だけではなく、地域からの意見を聞く機会となったり、事業所として業務の客観視や振り返りの機会となっていると考えられます。今後も会議で出た意見を日々のサービス向上に活かしていただきたいと思います。</li> </ul>		



					・着任しまだ日が浅いこともありますが、運営推進会議で意見を述べるには未熟ところもありますが頑張っていきたいと思います。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が行政担当者や関係機関と連絡を取り、手続きや必要な支援をしている。また、生活保護担当者と利用者の情報共有を行っている。	・運営推進会議などで顔の見える関係作りを行うことで、関係機関での連携体制の構築につながっていると考えられます。 ・自己評価の内容が不明でコメントができません。 ・地区担当の包括支援センター、介護予防センターなども参加して運営推進会議が実施されており、協力体制を構築されている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内で身体拘束適正化委員会を設置し、年2回の研修の他3ヶ月毎委員会をWEB開催随時身体拘束の指針など更新作成している。委員会ではユニット毎の内容報告を行い、言葉使いや関わり方など知識を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・研修等身体拘束をしないケアについての学習機会がある。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内では特定の利用者が玄関に行かれると職員が鍵を施錠している。以前よりは日々の活動提供で行動心理症状の軽減を図り、玄関にいかれることも少なくはなっているが、完全には対応できていないのが現状であり、職員の意識を高め、支援方法を再検討していく。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・事業所内でルール化したり、今後、虐待防止のための支援方法を検討する方向性となっている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度を利用者がいるが、職員間では学びの機会が少ないため、制度について活用の知識を深められるように勉強会など開催が必要である。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が行っており、利用者様やご家族様から不安や疑問点、入居後のご要望を確認し、理解が得られるように対応している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	来訪時や電話連絡時などでご意見やご要望を確認し随時対応している。要望は少ない。こちら側からも希望に沿えるように働きかけを行い、柔軟にケアに繋げていきたい。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・随時、利用者家族からの意見や要望を聞き取り運営に反映されている。 ・lineによる面会は以前行っていたが現在どのようになっているか、又、利用率はどの程度でしょうか。

10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に職員からの意見や提案をきいており、カンファレンスや業務に反映できるようにしている。また、年に1回は個人面談の機会がある。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就業規則は随時整備、閲覧できるように事務所に設置している。職員ひとりひとりがやりがいや向上心をもてるよう委員や係を決めている。職員資格取得には助成の活用や公休や有休希望も反映されている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・助成制度などを活用し、各自が向上心を持って働けるよう職場環境、条件の整備に努めている。 ・閲覧だけではだめ、積極的にミーティング中でも項目を定めて、話す機会を設ける。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍であったことから、積極的に外部研修の機会はなく、ウェブ開催の研修参加や月1回、事業所内の勉強会で、知識を深めている。研修開催がある際は、管理者より通達している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・研修機会があることで、職員を育てる体制整備につながっている。 ・研修参加だけではなく、個々人に対し何が理解したか、職員間でも話して深めることが大事です。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は行っていたが、コロナ禍により、他法人との交流会・勉強会・親睦会などの機会も中止となっており、関わりをもつことができていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人ができることを行い、職員と利用者様が生活の中で家事活動や余暇活動等支援し、支え合う関係づくりを行っている。			
15	馴染みの人や場所との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍もあり、窓越しやタブレットでの対応で、面会制限していたが、5月ごろより外出支援やご家族の面会も、予約制での対応、緩和し関係がとぎれないように、支援に努めている。	・コロナ禍の中、できる範囲で対応していた。 ・充分対応していただいている。 ・面会はオンラインで可能とのことですが、利用率(月別毎)がわかれば判断できるのかと思う。 ・外出支援やご家族との面会の機会の保持が、利用者の方やご家族双方の安心や、関係の継続につながっていると考えられます。 ・少しの時間でも良いので家族が面と向かい合う機会を作る、オンラインでも会話が必要で、会話は脳に刺激を与えたいと思います。		
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人が意思決定できるような声かけを図り、希望や意向に添えるように支援している。意思決定が難しい利用者様へは本人の意向がどのようなものであるのか職員間で汲み取り把握に努めている。			

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の心身状態の変化で家族や医療関係者と話し合いの場を持ち、各々の意見や要望に合わせて計画作成担当者が現状に即した介護計画を作成している。 著しい変化の場合の時は、緊急のミニカンファレンスの開催し、意見交換している。	・このまま継続して欲しい。 ・カンファレンスの機会を持つことで、ご本人の状態に即した介護計画の作成に努められています。 ・現状に合わせた中で、変化も考慮し、本人、家族の意見も取り入れた計画を作成している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・関係機関とのカンファレンスの機会をもち、現状に即した介護計画を作成していることが、利用者様らしい暮らしを続けるケアマネジメントにつながっている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ICTの活用その他の情報ツールを活用して情報共有している。記録については日々の様子について内容が不十分な面もあるがケアの実践や状態変化など、介護計画の見直しは行えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員間で情報共有しながら、ケアの実践や介護計画の見直しができている。 ・具体的なツールとは何でしょうか。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問リハビリ、訪問理美容、訪問歯科など限られたニーズではあるが、対応している。今後も必要なニーズに応じて柔軟に取り組んでいきたい。	・その時々に応じて既存サービスや支援を多機能的に取り組まれている。 ・本人、家族共に納得のいくサービスを目指す必要がある。 ・喜ばれることは積極的にやって欲しい。 ・利用者の方やご家族に合わせたニーズへの支援に努められています。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の小学校との交流はコロナ禍のため、中止となっている。町内会の行事への参加はコロナウィルス感染症が5類へ移行に伴い、再開できたが、個人に合わせて買い物外出の機会を作っている。	・可能な限り地域資源との協働に努められています。今後の運営推進会議も活用し、地域資源の把握に繋げていただければと思います。 ・町内会の行事への参加ということですが、具体的に示して欲しい。小学校との交流はコロナ禍前の方法を何らかの形で変えていかざるを得ないと思います。 ・コロナ5類後も、これからも考えながら交流を深めていただきたい。 ・地域の社会資源を活用し参加しながら、その時々に応じて個人への社会参加の機会を増やしていただきたいです。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人やご家族の意向を伺いながら心身の状態を見極め、かかりつけ医に相談し、適切な医療が行えるように支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者・計画作成担当者が中心となってはいるが、医療関係者と情報交換や連携をしながら、早期退院に向けた働きかけや連携を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・医療機関と情報交換を行うことで、早期退院に向けて医療機関と協働することができている。
23	重度化や終末期に向けた方	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない	重度化した場合は事前に早期の段階からご家族には意向を確認し、段階を		A. 十分にできている B. ほぼできている	・早期の段階から本人、家族の意向を確認し、チームで連携しながら支援を

	針の共有と支援	所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	D. ほとんどできていない	踏まえ、事業所、家族と主治医が話し合いを行い、治療方針や最期の過ごし方を共有し、職員間で共通認識を持ち、関係機関と連携している。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行うことで、本人らしい暮らしの支援につながっている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時に向けた実践マニュアルはあるが、実際の訓練の実践は行えていない。少なくとも年に1~2回程度は勉強会で実践力を身につけることができるように行っていきたい。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練は年2回行っているが、地域の方との協力体制の働きかけや実践までは行えていない。地震水害等自然災害訓練の実施には至ってないが、震度5強の地震を想定し入浴などの介助中の場面に応じた勉強会を実施しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策は、命を守ることが大前提で、そのための訓練等はじっくり考えて行うべきである。</li> <li>・夜間の職員だけでは、災害時の対応は難しいのでは・・・と7/11 運営推進会議で話が出ていた。地域との協力体制をいかに築いていくか今後の課題と思います。</li> <li>・事業所だけで実施するのには限度がある。事業所が10年経過しているが変化がない。避難訓練はまわりを巻き込みながら対応しなければと思います。その前に近所付き合いが必要です。</li> <li>・避難訓練を行うことで、災害時の安全確保に努められています。今後地域へも協力体制の働きかけを行い、さらに安全確保を進めていただきたいと思います。</li> <li>・近隣の方々との連携を深めていただければと思います。</li> </ul>	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間の職員2名だけでは、避難するには難しいのではないかと？法人としてどのように考えているのか？</li> <li>・グループホームの夜間の人員配置上2名となっているため、限られた人員での避難することは仕方のないことですが、消防が駆け付けるまでの時間で避難すること、日ごろからの訓練が大事になってきます。</li> <li>・他の事業所の避難訓練の方法や、情報など確認してもいいのではないのでしょうか？</li> <li>・近隣住民との付き合い、避難訓練に参加してもらえるような関係作りとして、町内会で協力できることも何かあると思います。</li> </ul>

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活において個々の人格を尊重しながら、声掛けや配慮した対応が行えている。		A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人格を尊重していただきたい。</li> <li>・ほめることも行っていただきたい。</li> <li>・人格を尊重した関わりができています。</li> </ul>
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活において可能な限りご希望や意向を尊重し、自己決定が出来るような声掛けや関わりを心掛けている。職員の離職が多く、少ない人員の中、職員側の都合する時期もありました。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の嗜好に合わせて補食やメニューを変更して提供したり、盛り付けや片付けなどは利用者と職員と一緒にできるように支援している。		A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・極力利用者の方ができることは行っていた方が、脳活性、手作業、指の運動等になるので一緒に行動していただきたい。</li> <li>・個人の嗜好に合わせた食事支援を行ったり、利用者にも準備や片付けの役割を与えることで、食事を楽しむことの支援につながっている。</li> </ul>

							・食べる事の幸せを利用者の方々に感じてもらっている様子が見られます。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の嗜好に配慮しながらその日によって個別に工夫した提供をおこなっている。基本的には栄養バランスを考えた事業者の献立と食材を使用して提供はしているが、固形物が難しい利用者にはソフト食を提供し負担なく摂取できるように支援している。食事量の少ない利用者には、栄養補助食品で補っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のご本人ができる能力をいかにせるように声掛けやご自身で行ってもらえるように支援はしている。必要時に応じて訪問歯科、歯科衛生士による口腔ケアを週1回行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員や歯科医、歯科衛生士による口腔ケアを行うことで、状態に合わせて口腔内の清潔保持につながっている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に合わせた排泄リズムや排泄される時間等、タイミングに合わせて、状況を見極めながら自立支援ができるように関わっている。排便状況を確認し、乳製品や水分を提供、状況に合わせて、下剤調整をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・状態に合わせた排泄介助、服薬調整を行うことで、排泄の自立支援につながっている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実施時間は事業所側の都合で実施している。コロナ感染時期は入浴が行えない時期があった。現在は、週2回以上入れるように支援しており、可能な限りご本人から、入浴希望がある際には希望が添えるように対応している。身体状況によりシャワー浴で対応しているが、気持ちよく入ってもらえるように支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活習慣の理解はしており、個々の生活を尊重し、日課に合わせて休息、安眠になるよう支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬内容を職員間で確認できるようにしている。変更があった場合も申し送りや書面を通じ、共有ができている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・随時職員間で服薬内容を共有できる体制をとることで、正しい服薬支援につながっている。 ・ぜひ、誤りの内容に服薬して下さい。 ・服薬結果はチェック様式で可視できるような工夫はされていますか。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴を踏まえて、ご自身の今できることを見出し、役割をもち、能力が発揮できるように支援している。楽しみごとについては、コロナ禍の中あまり行えていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な活動を行うことで、利用者の方の能力の発揮や、張り合いに繋がっていると考えます。</li> <li>・個々人の人格を尊重しながら喜ばれるよう対応をお願いします。</li> <li>・コロナ禍でも工夫しながら職員が対応されていた様子が活動報告の中でありました。</li> <li>・何か一つでも興味のわくものがあれば、楽しみも増え、気持ちに張り合いも出てくると思います。</li> </ul>		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により受診以外の外出の機会はなく、近隣への散歩や買物外出は再開しているが、一部の利用者になっており、頻度は少ない。本人の希望に添って、散歩や近隣への買い物外出ができるように、感染対策を継続し、増やしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナと共存する世の中になり、感染するリスクは常にあるため、感染対策を実施して行動する以外に考えられない。</li> <li>・コロナ禍前は、地域のサロンに利用者が参加されたり、行事に参加されていたが、最近では参加されていない。</li> <li>・職員の方々は大変でしょうが親身に対応していただきたいこと、利用者の喜ぶ姿を見て、大変と思いますがよろしくをお願いします。</li> <li>・一部外出支援をされているとのことですが、今後はぜひ感染状況と利用者の方のニーズに合わせて外出支援を進めていただければと思います。</li> </ul>		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所で金銭は管理しているが、個人によっては、希望に応じて、お金を所持し管理できるように対応している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自ら電話をする利用者はいないが、タブレット使用にてオンライン電話をしていた。手紙が届いた際には、状況に応じて、読み上げて対応している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適切な湿度や温度を意識しながら管理している。玄関や共用空間は季節感を取り入れた装飾を行い、快適で心地よく過ごせるように、利用者にあわせて配置を変更している。また、感染対策にて室内の換気や消毒は、継続して行っている。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候や感染状況に合わせて施設を管理することで、利用者にとって安全で居心地の良い共有空間づくりにつながっている。</li> <li>・玄関、居間などに生け花があれば豊かな心になるのではないかと、ぜひお願いしたい。利用者の方が生け花をやるようであれば、なお良いと思います。</li> </ul>	
<b>IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向を尊重しながら、利用者のペースに合わせて、生活支援を行っている。			



41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前情報で生活歴やご本人から確認を行い、友人関係を円滑に維持できるように支援している。また基本情報をもとに日課を検討し、ケアを行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診や往診時等また適宜必要に応じて、訪問看護や医療機関へ相談を図りながら支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・会話できない人達の対応はどのようにされているか。 ・必要に応じて医療機関と連携を図ることで、利用者の安全性の確保や、利用者主体の生活につながっている。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のペースに寄り添いながら、その日の気分や体調に合わせて、家事支援や活動提供、休息などの支援に努めている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の際にこれまでご自身が大切にしてきたものやなじみの物は持参してもらえるようにご家族に依頼している。また、ここでの生活でご自身が作成した物はリビングや居室に掲示して対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・掲示する際、コメントを記して、ただ掲示だけではあげない。 ・家族との協働や、製作活動を支援することで、評価項目の達成につながっている。
45	生活の継続性	本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意向や希望により、外出対応しているが、頻度は少ない。催事や祭り行事などには、外出できていない利用者にも参加できる機会を増やし楽しみや気分転換に繋げたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、意向に沿った外出など対応していただければと思います。</li> <li>・地域資源を活用するなど、参加しやすい催事から、楽しみや気分転換の機会を広げてもらえればと思います。</li> <li>・職員の方々の負担は大変なのはわかりますが、ぜひ、本人の希望を叶えていただきたいと思えます。</li> <li>・コロナ前は、町内のサロンで施設職員同行のもと利用者さんが参加されていましたが、ここ3年程は、コロナの影響もあり機会がなかった。</li> <li>・本人の意向、希望を100%対応するには、職員さんの人間的なものも影響してくるのではないだろうか、外出できていない理由は何かを探し出すことも必要かと思えます。</li> </ul>		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、ご本人ができること、できないことを見極め、本人ができることを発揮し、楽しめるように支援している。できていたことができなくなってきた様子もあるが、可能な限りできることを優先しケアに繋げている。			



47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者のその日の調子に合わせて、季節の創作活動や個別での塗り絵、家事支援の声掛けを図り、意欲につながる支援を心掛けている。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・創作活動の支援や家事支援を行うことで、利用者の意欲につながる支援を行っている。 ・積極的に声かけして、本人の無気力のところ、ぜひ職員の方々の配慮で意欲を出すようご指導されたい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	頻度は少ないが、散歩に出かけた際には、利用者とともに職員は、地域の方にはご挨拶させていただき、顔なじみの関係ができるようにしている。近隣の子供たちからも挨拶いただくこともある。コロナ禍で参加していなかった町内会の行事を通じて、今後は交流できるように、再開したい。	・外出することで近隣の方々や子供達とも会えるので極力時間を作って、外に出るような計画を練って頂きたいと思います。 ・また以前のように、地域の方々と楽しく行事に参加できることを望みます。 ・今後は地域資源を活用していただくことで、地域との関係作りをすすめていただきたいと思います。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	一部の利用者より日々の支援する中で、「ここに来てみんなに支えられて嬉しいし、元気に過ごせている」などお話いただく機会もあり、継続してご本人らしい生活が送れるように支援していきたい。	・ここ3年程利用者の様子は文章で、外出や行事などの写真を拝見させていただいております。職員の方々と楽しそうにしている様子を理解しています。 ・利用者の方が元気になって、楽しいグループホームであると思える様に協力させていただきます。 ・入居されている方々は、不満が相当あると思いますが、職員の方々のご理解いただき楽しく暮らせるようお願いいたします。施設の事情もあると思いますが、家族の方も、面会の機会を多くしていただくようお願いいたします。 ・今後は外出支援や行事の参加を通じて、利用者の方がその人らしく暮らし続けられるよう、支援を進めていただければと思います。	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営推進会議での運営状況報告から利用者らしさを守る支援ができていると考える。 ・無理だと思う。慣れ住んだ自宅などからグループホームに入居では帰りたい願望がある。本人はなぜグループホームに入居したかの意味がわからない人々が多いので、この問題は永遠の課題と思ひ、良い解答はうかばない。